

国道468号 首都圏中央連絡自動車道[圏央道]

概要

圏央道は、都心から半径およそ40km～60kmの位置に計画された総延長約300kmの環状の高規格幹線道路で、3環状9放射ネットワークの一部を形成し、東京都中心部への交通の適切な分散導入を図り、首都圏全体の交通の円滑化、首都圏の機能の再編成を図る上で重要な路線です。

神奈川県内においては「さがみ縦貫道路」「横浜湘南道路」及び「横浜環状道路」の一部ともなる「高速横浜環状南線」の3区間に分かれており、湾岸地域と内陸地域を結ぶ新たな交通軸としても期待されています。これまでに海老名JCT～海老名ICの間の1.9kmが開通しています。

【事業区間】

国道468号 首都圏中央連絡自動車道
(さがみ縦貫道路、横浜湘南道路、高速横浜環状南線)



【さがみ縦貫道路の状況(24年1月撮影)】



※高速横浜環状南線、横浜湘南道路の未供用区間のIC名称は、仮称です。

※さがみ縦貫道路のIC名称決定については、本日、別途記者発表(「さがみ縦貫道路のインターチェンジ名称が決定しました。」)しております。

国道468号 首都圏中央連絡自動車道[茅ヶ崎～海老名]

(茅ヶ崎市、寒川町、海老名市)
平成24年度事業費:128.2億円

概要

圏央道(茅ヶ崎～海老名)は、圏央道(さがみ縦貫道路)の一部区間であり、神奈川県内南北方向の交通軸として都市間の道路交通網強化及び交通混雑の緩和を目的とした道路です。

これまでの状況

茅ヶ崎JCT～海老名南JCTまでの延長7.9kmの区間について、調査設計、用地買収及び橋梁、改良工事等を実施しており、用地進捗率は約99%(平成24年3月末現在)に達しています。

平成24年度の予定

今年度は、道路設計、埋蔵文化財調査、用地買収及び橋梁、改良工事等を実施する予定です。また、茅ヶ崎JCT～寒川北IC間(延長5.1km)が今年度開通する予定です。

国道468号首都圏中央自動車道(茅ヶ崎～海老名)



寒川南IC付近(平成24年1月撮影)



寒川北IC付近(平成24年1月撮影)

国道468号 しゅとけん ちゅうおう れんらくじどうしゃどう えびな あつぎ 首都圏中央連絡自動車道[海老名～厚木]

(海老名市、相模原市、厚木市)

平成24年度事業費:23億円

概 要

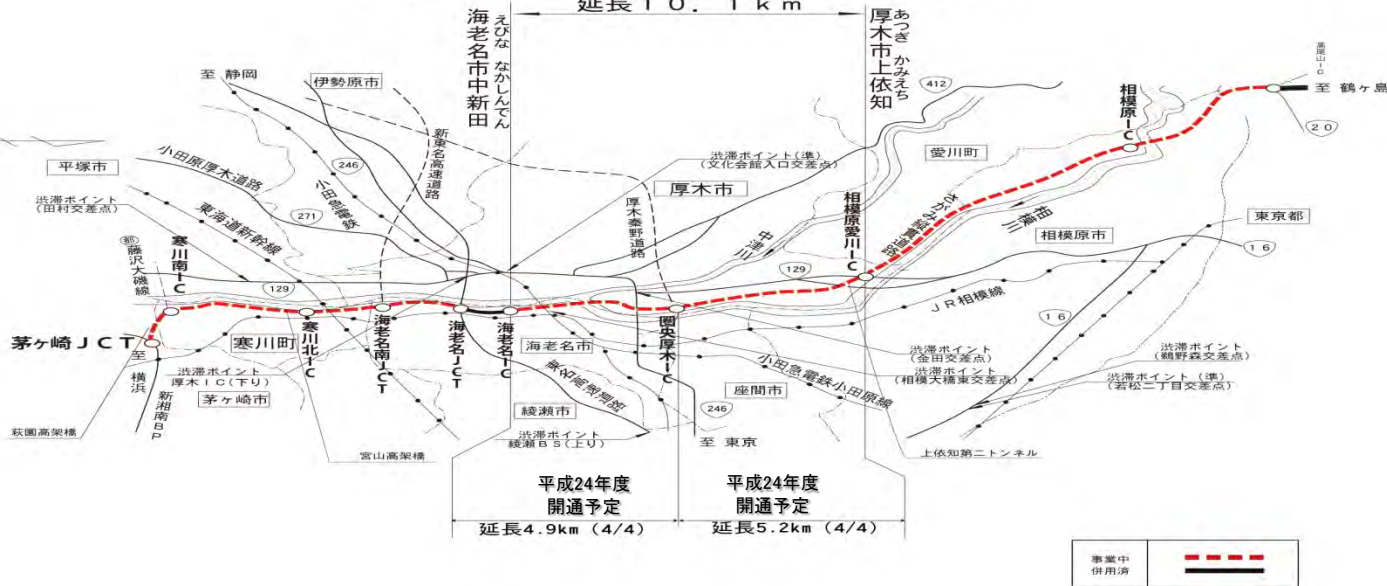
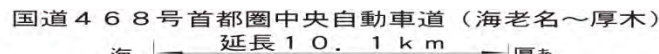
圏央道(海老名～厚木)は、圏央道(さがみ縦貫道路)の一部区間であり、神奈川県内南北方向の交通軸として都市間の道路交通網強化及び交通混雑の緩和を目的とした道路です。

これまでの状況

海老名IC～相模原愛川ICまでの延長10.1kmの区間について、調査設計、用地買収、橋梁及びトンネル工事等を実施しており、用地進捗率は約99%（平成24年3月末現在）に達しています。

平成24年度の予定

今年度は、道路設計、埋蔵文化財調査、用地買収、改良、トンネル、橋梁工事等を実施する予定です。また、海老名IC～相模原愛川IC間(延長10.1km)が今年度開通する予定です。



圏央厚木IC付近(平成24年1月撮影)



国道129号交差部付近(平成24年1月撮影)

しゅとけん ちゅうおう れんらく じどうしゃ どう よこはま しょうなん どうろ

(横浜市、鎌倉市、藤沢市)

平成24年度事業費:8.0億円

概 要

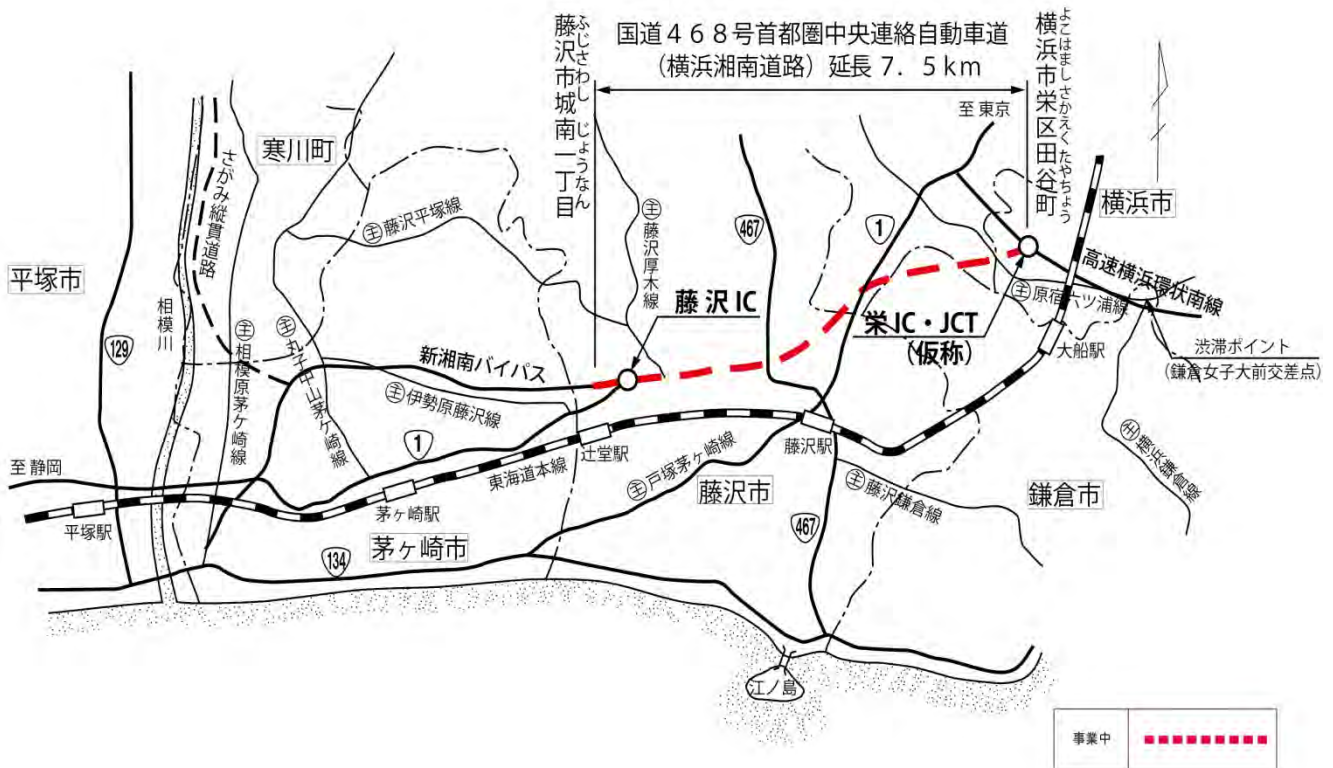
圏央道(横浜湘南道路)は、さがみ縦貫道路や高速横浜環状南線及び既に開通している区間の新湘南バイパスと一体となって自動車専用道路のネットワークを形成し、広域的な交通の円滑化を図るとともに、地域交通の交通分担を適正化、国道1号等の交通混雑の緩和を目的とした道路です。

これまでの状況

横浜市栄区田谷町～神奈川県藤沢市城南一丁目までの延長7.5kmについて、調査設計及び用地買収を実施しており、用地進捗率は約52%(平成24年3月末現在)となっています。

平成24年度の予定

今年度は、道路設計及び用地買収、歩道橋移設工事を実施する予定です。



国道468号 首都圏中央連絡自動車道[金沢～戸塚]

(横浜市、鎌倉市)

平成24年度事業費:50億円

概要

圏央道(金沢～戸塚)【高速横浜環状南線】は、横浜都心から概ね半径10～15kmの位置に計画された横浜環状道路の一部であり、横浜市内の交通の利便性を向上し、交通渋滞の緩和、副都心や地域拠点間の連絡強化、周辺地域の活性化を促すことを目的とした道路です。

これまでの状況

横浜市金沢区釜利谷町～横浜市戸塚区汲沢町までの延長8.9km(一部事業は東日本高速道路(株)が担当)について、道路設計及び用地買収を実施しており、用地進捗率は約74%(平成24年3月末現在)となっています。

平成24年度の予定

今年度は、道路設計及び用地買収を実施する予定です。



国道1号 原宿交差点改良

はらじゆくこうさてんかいりょう

(横浜市)

平成24年度事業費:0.3億円

概要

国道1号原宿交差点改良は、国道1号と主要地方道原宿六浦線(環状4号線)、主要地方道阿久和鎌倉線が交差している原宿交差点において、慢性化している交通混雑の緩和、交通安全の確保を目的とした延長0.8kmの交差点立体化事業です。

これまでの状況

交差点立体化について、上り線が平成21年4月4日、下り線が平成22年12月12日に開通し、交差点の立体化が完成し、原宿交差点を先頭とする渋滞が解消するなど大きな整備効果が発現されています。

平成24年度の予定

今年度は、調査設計、側道及び歩道整備を実施する予定です。



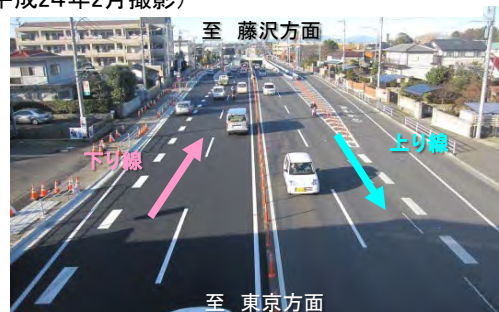
事業前の状況

(平成18年9月撮影)



全線開通1年後の状況(今回)

(平成24年2月撮影)



※ 国道1号原宿2丁目付近の横断歩道橋から原宿交差点(藤沢方面)を望む

国道357号 とうきょうわんがんどうろ 東京湾岸道路(神奈川県区間)

(横浜市、横須賀市)
平成24年度事業費:37.1億円

概 要

東京湾岸道路は、空港及び港湾施設や湾岸地域の連絡を強化するとともに、周辺地域の開発支援、物流の効率化と都市内交通の混雑緩和を図る等、円滑な道路交通網の形成に寄与する道路です。

これまでの状況

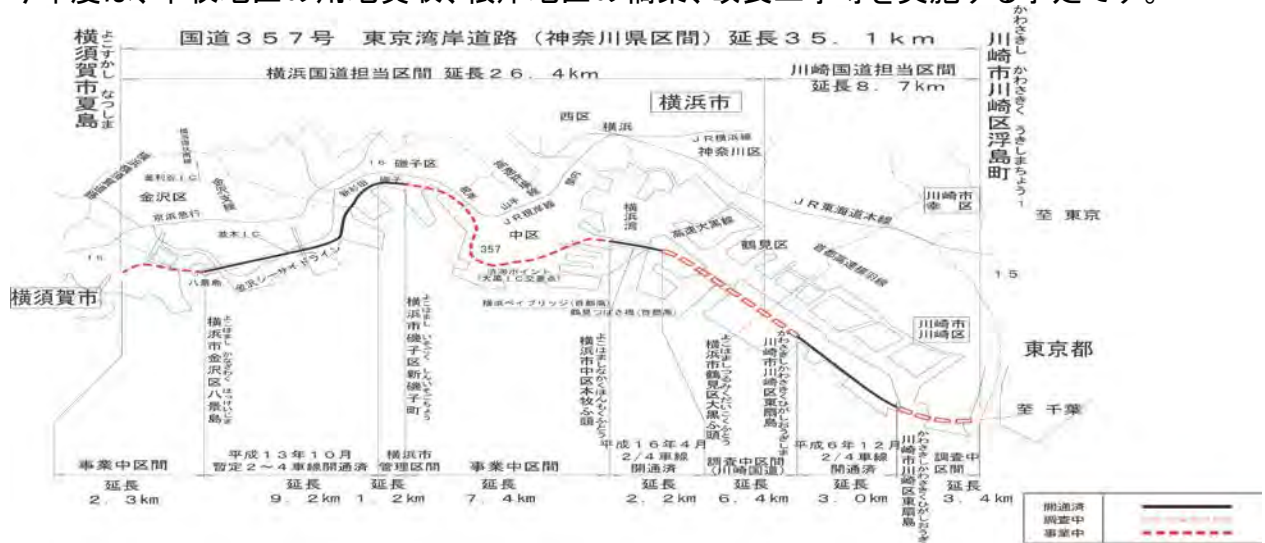
国道357号東京湾岸道路(神奈川県区間)は、川崎市川崎区浮島町から横須賀市夏島までの間の延長35.1kmの区間であり、そのうち横浜国道は川崎・横浜市境から横須賀市夏島までの延長26.4kmを整備しています。

これまでに磯子区新磯子町から金沢区八景島の延長約9.2km、横浜ベイブリッジ一般部の延長2.2kmの併せて延長11.4kmが暫定2～4車線で開通しています。

中区本牧ふ頭から磯子区新磯子町までの間の延長7.4km区間のうち、本牧地区については、道路設計、根岸地区については、道路設計及び橋梁・改良工事を実施しています。

平成24年度の予定

今年度は、本牧地区の用地買収、根岸地区の橋梁・改良工事等を実施する予定です。



根岸地区の橋梁架設後の状況(平成24年4月撮影)



根岸地区の橋梁架設工事状況(平成24年4月撮影)

あつぎはだのどうろ 国道246号 厚木秦野道路

(厚木市、伊勢原市)
平成24年度事業費:4.9億円

概要

国道246号厚木秦野道路は、国道246号のバイパスとして、東名高速道路、新東名高速道路、さがみ縦貫道路と相互に連絡し、県央地域の広域的なネットワークを形成する道路です。

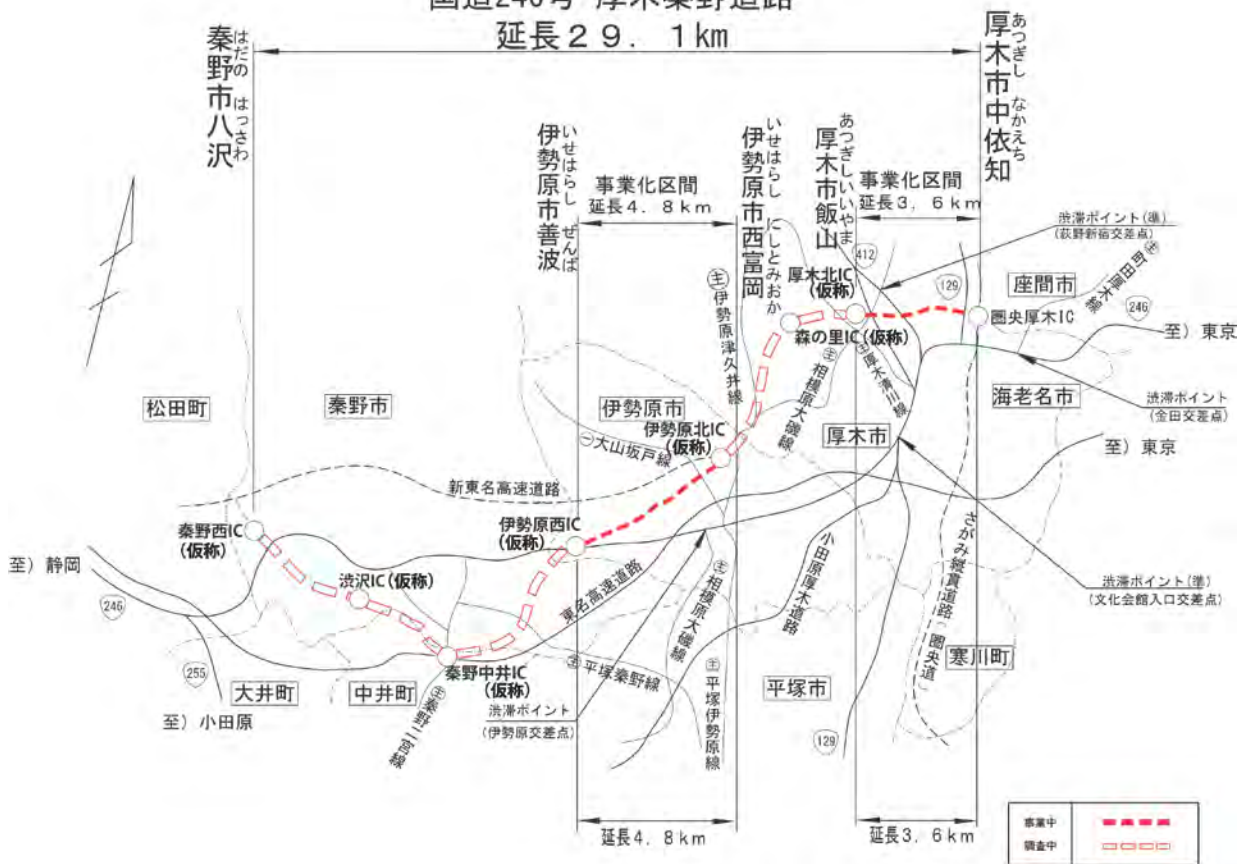
これまでの状況

厚木市中依知^{なにかえち}～厚木市飯山^{いひやま}[厚木地区(延長3.6km)]までの間及び伊勢原市西富岡^{にしとみおか}～伊勢原市善波^{ぜんば}[伊勢原地区(延長4.8km)]までの間が事業化しており、これまで調査設計及び用地買収を実施しています。

平成24年度の予定

今年度は、道路設計、用地買収、埋蔵文化財調査を実施する予定です。

国道246号 厚木秦野道路
延長29.1km



国道246号 秦野IC^{はだの}かんれん

(秦野市)
平成24年度事業費:0.1億円

概 要

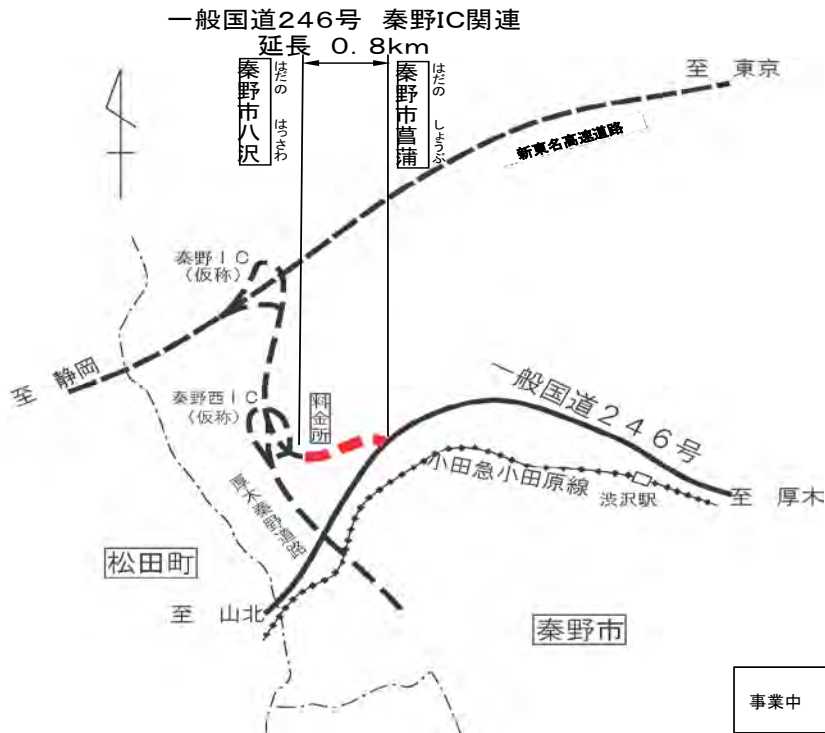
国道246号秦野IC^{はだの}かんれんは、新東名高速道路と国道246号を接続するインターアクセス道路整備事業です。

これまでの状況

秦野市^{しょうぶ}菖蒲^{はっさわ}～秦野市八沢の間の延長0.8Kmについて、調査設計を実施しています。

平成24年度の予定

今年度は、調査設計を実施する予定です。



国道246号 やまきた むこうはら 山北バイパス(向原地区)

(山北町)

平成24年度事業費:1.0億円

概要

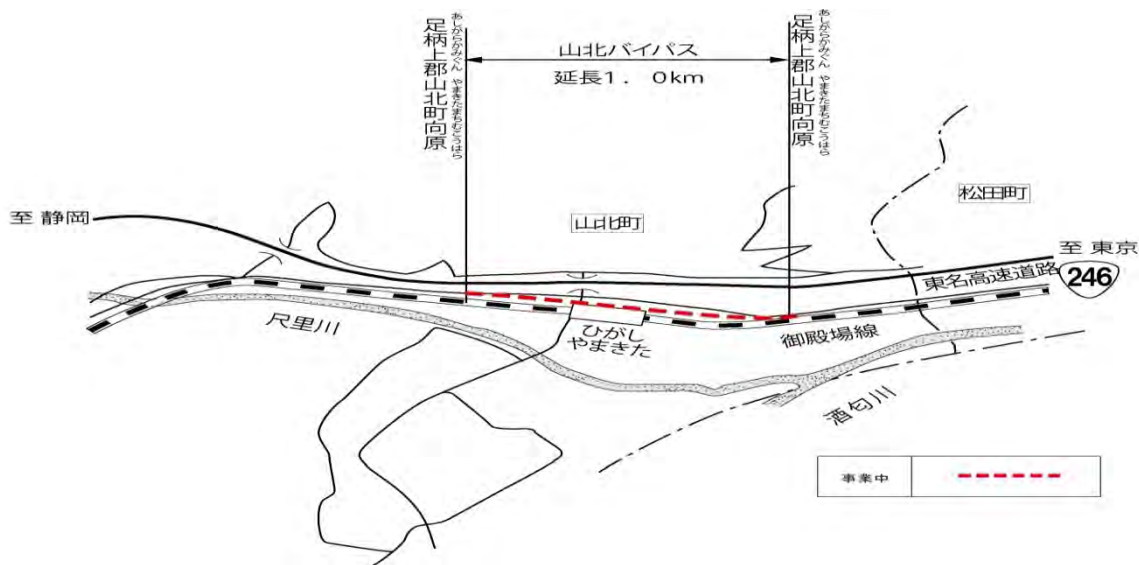
国道246号山北バイパスは、足柄上郡山北町向原地先における線形不良区間、狭小幅員区間の解消を目的とした延長約1.0kmの道路です。

これまでの状況

山北町向原地区延長1.0kmについて、改良工事を実施しています。

平成24年度の予定

山北町向原地区において改良、舗装工事を実施する予定です。
また、山北バイパス(延長1.0km)が今年度、開通する予定です。



現在の状況(平成24年1月撮影)



現道246号取付け部の状況(平成24年4月撮影)

国道1号 おだわらはこねどうろ 小田原箱根道路

(小田原市、箱根町)
平成24年度事業費:9.0億円

概 要

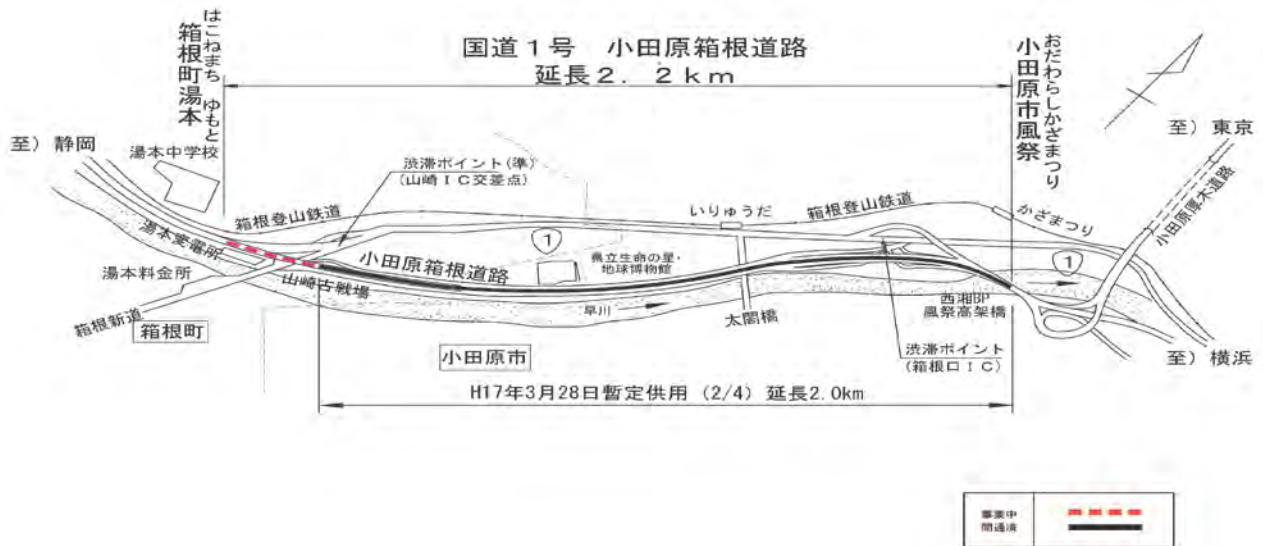
国道1号小田原箱根道路は、国道1号の小田原市風祭から足柄下郡箱根町湯本までの間の交通混雑の解消を目的とした道路です。

これまでの状況

小田原市風祭～足柄下郡箱根町湯本までの間の延長2.2kmのうち、2.0km区間については平成17年3月に2車線にて開通しています。

平成24年度の予定

今年度は、未開通区間の道路設計、用地買収、改良工事を実施する予定です。



現在の状況(平成24年1月撮影)



終点部の改良工事状況(箱根町湯本)(平成24年4月撮影)

国道1号 新湘南バイパス

(茅ヶ崎市、平塚市、大磯町)
平成24年度事業費:0.1億円

概 要

国道1号新湘南バイパスは、国道1号の茅ヶ崎市、平塚市及び周辺部の交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的とした自動車専用道路です。

これまでの状況

藤沢IC～茅ヶ崎西ICまでの間(延長8.4km)は、昭和63年3月に4車線にて開通しています。
また、茅ヶ崎西IC～茅ヶ崎海岸ICまでの間(延長1.2km)は、平成7年12月に4車線にて開通しています。

平成24年度の予定

今年度は、未開通区間の調査設計を実施する予定です。



国道16号 かながわ とうかんきょうたいさく 神奈川16号環境対策

(横浜市)

平成24年度事業費:0.3億円

概要

神奈川16号環境環境対策は、神奈川県内の国道16号(延長72.2km)における騒音環境の改善を目的とした沿道環境整備事業です。

横浜国道事務所では、管内の国道16号の延長55.6kmの整備を推進します。

平成24年度の予定

今年度は、横浜市内において、遮音壁等の設計を実施する予定です。

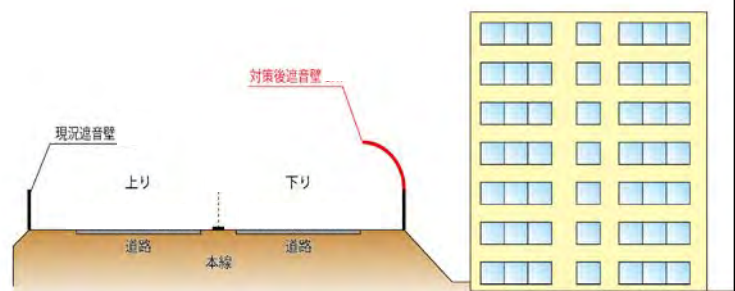


【現況写真(国道16号保土ヶ谷BP)】

平成23年12月撮影



【対策の例】



その他の改築事業

国道16号 よこすかちく 横須賀地区トンネル改修 かいしゅう

(横須賀市)

平成24年度事業費:0.1億円

概要

国道16号横須賀地区トンネル改修は、横須賀市内の国道16号における、老朽化が著しいトンネルのうち抜本的な対策の必要性が高いものを対象に、改修整備を行い交通の安全性の確保や円滑化を図るものです。

これまでの状況

横須賀市吉倉町1丁目～横須賀市追浜町1丁目までの間に存在する、新浦郷、新船越、新田浦、新吉浦トンネルの4カ所のトンネルにおいて、調査設計を実施しています。

平成24年度の予定

今年度は、調査設計を実施する予定です。

国道1号 かわさき 川崎1号環境整備 ごうかんきょうせいび

(川崎市)

平成24年度事業費:0.7億円

概要

国道1号川崎1号環境整備は、川崎市内の国道1号における歩行環境、自動車交通の円滑化、大気・騒音環境の改善など、道路と沿道が一体となったゆとりある「みち」と「まち」づくりを進めることを目的とした沿道環境整備事業です。

これまでの状況

川崎市幸区小向仲野町～川崎市幸区柳町間の延長2.8Kmについて、環境対策の検討を実施しています。

平成24年度の予定

今年度は、道路設計等を実施する予定です。